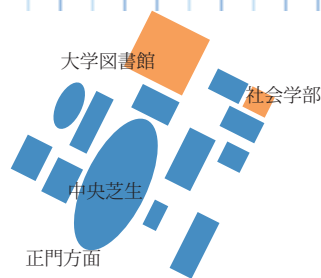


10th UNHCR 難民映画祭

上映場所MAP

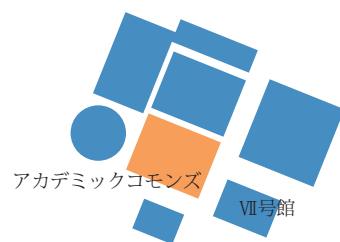
関西学院大学
西宮上ヶ原キャンパス

11月25日(水)
▶社会学部 101号教室
11月28日(土)
▶図書館ホール



関西学院大学
神戸三田キャンパス

11月26日(木)
▶アカデミックコモンズ
シアタールーム



主催

関西学院大学 / J-FUN ユース K.G.
国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所



11月28日(土) 14:00~
@西宮上ヶ原キャンパス

©2014 Black Label Media, LLC. All Rights Reserved.

目を閉じれば、いつもそこに ~故郷・私が愛したシリア~

2011年に始まった紛争によって、家族を失い家も街も破壊され、帰る場所を失ったシリア人。未だ収まることを知らないこの紛争は、かつて豊かだったこの国を、世界最大の難民発生国へと変えてしまった。それでもなお、ふるさと・シリアに帰りたいという想いを抱き続けている人々。紛争の裏側にある現実と、彼らの想いを伝える。

グッド・ライ ~いちばん優しい嘘~

1983年にスーダンで始まった内戦によって孤児となった南部スーダン出身の3人の難民の子どもたち。13年間をケニアのカクマ・キャンプで過ごした彼らはやがて成長し、アメリカへの第三国定住の機会を得る。空港に降り立った彼らを待っていたのは職業紹介所に勤めるキャリアだった。新しい土地での生活に戸惑いながらも幼少期の辛い思い出を乗り越えようとする3人、そんな彼らを理解しようとするキャリア。そこに生まれた絆とは――。



11月25日(水) 11:10~
@西宮上ヶ原キャンパス
11月26日(木) 11:10~15:10~
@神戸三田キャンパス

ボクシング・フォー・ フリーダム

アフガニスタンの女子ボクシング界で最も優れた選手、サダフ・ラヒミ。彼女は自由を勝ち取るためには国の伝統や恐怖、自身の運命に立ち向かわなくてはならない。難民として避難していたイランから姉のシャブナムと帰郷し、サダフが当時発足したばかりのボクシング・チームに参加したのはまだ13歳の時だった。新しいアフガニスタン人女性の生き方としてボクシングと学業の両立を目指すサダフ。だがその行く手には数々の脅迫と困難が立ちちはだかっていた。



11月28日(土) 11:00~
@西宮上ヶ原キャンパス

©Making Doc